

十王町人口統計

(令和8年2月1日現在)

世帯数：5,055世帯
 男：5,979人
 女：6,324人
 合計：12,303人

十王の風

十王地区コミュニティ推進会
広報第58号

発行日：令和8年2月20日

発行責任者：川井 健一

編集：広報部

「自主防災避難訓練」開催

十王地区コミュニティ推進会 会長 川井 健一



何かとお忙しい中、コミュニティ推進会主催によります「自主防災避難訓練」に多くの皆様のご参加を頂きまして誠にありがとうございました。

近年、地震や台風といった自然災害が頻繁に発生しており、いつどこで災害が起きてもおかしくない状況です。

今回は、地震想定訓練として防災無線により地震が発生したことが放送され、その一報によりその場でシェイクアウト訓練を行い、自宅での生活が困難との想定により、避難所に避難して頂くことの訓練を実施いたしました。参加者の皆さん落ち着いて行動できたでしょうか。避難所までの避難訓練、ご苦労様でした。

このほか、初期消火訓練・煙道訓練を初め色々な体験コーナーが開設された他、防災講話として柴田防災士による「災害時の自宅非難について」の講話がありました。今回の訓練と重ね合わせ、いざ災害が発生した場合の初動対応を再確認することが出来たのではないかと思います。

私たち自身の命と大切な地域を守るためには、日頃からの備えと繰り返しの訓練が不可欠です。今回の訓練を通して、災害時の適切な行動や地域での助け合いの重要性を改めて再確認し、万が一の事態に備えて頂ければ幸いです。また、今回も日赤十王地域奉仕団の「炊き出し訓練」による豚汁が準備されておりました。

コミュニティ推進会では、これからも皆様とともに安全な地域づくりを目指し、継続して防災活動に取り組んでいきたいと考えております。

今回の地震想定訓練に参加頂きました地域の皆様をはじめ、日立市ほか各行政機関、企業・関係者の皆様には、改めて感謝申し上げますとともに厚く御礼申し上げます。

自主防災避難訓練 11/30



日立の魅力 再発見ウォーク 12/13

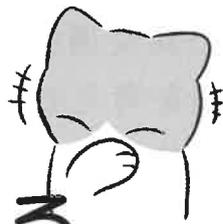
行程 出発→光圓寺→^{とも}鱸神社
→友部城跡→菊乃香酒造



「櫛形小学校」と「山部小学校」の統合

どちらの学校も、3月をもって永い歴史に終止符が打たれ、山部小学校と櫛形小学校が統合され、新たに十王小学校としてスタートいたします。

山部小学校には、皆さんの思い出などが綴られたメモリアル室があります。十王小に移ってからも展示されます。櫛形小はこれから準備されます。一度ご覧ください。



山部小あるある

1. 横断歩道で止まってくれた車に会釈をする。車が通り過ぎてから信号を押す、という運転手さんへの愛を感じます。
2. 集会などで集合に遅れた時には、必ず「すみませんでした〜」ってみんなにきちんと挨拶してから、列に並んでいました。
3. 運動会では、保護者(教員が多かったので)が審判をやってくれる。中学生が準備を手伝う。ソーランは、児童・保護者・先生で踊っているとか。
4. 運動会では十王音頭を踊っていました。(尾崎紀世彦が歌っています。)
5. 全校児童・先生で校外学習(遠足)に行く。(バス代が高いので)
6. 木造校舎の前にあるミカンを秋に収穫して、職員室ではストーブでミカンを焼いて食べていました。冬のお楽しみです。
7. 昔は、職員の玄関はガラスの引き戸で、施錠は大きな南京錠だった。
8. 校舎の裏に池があって、そこにコイが5、6匹泳いでいました。山から流れてくる水を引いていたので、食べたらいよいよと言われました。誰も食べずにいつの間にか池が無くなりました。

その昔、山部小に勤務していた石川 尚子先生から (現在油縄子小勤務)

寄付金を頂きました

川上地区子ども会様より ¥245,633

子ども会解散によるものです。
ありがとうございます。

「第16回 環境とくらしのヒント講座」

第2弾

～あなたの“足”は大丈夫？～

十王で暮らし続けるためのお出かけ・お買い物の交通手段

十王地域内の多くの家庭では、日常の足として自家用車に依存してきましたが、運転免許を返納した高齢者や元々運転免許を持たない方、学生の移動手段はどうなっているでしょう。乗合バスは、乗客の減少により路線の縮小や減便、さらに、タクシーも含め運転手不足が深刻で公共交通（日常の足）の確保は危機的な状況にあります。

そのため、不安の無い生活、生き生きとした生活を送り、住みやすい街にするためにも、皆さんが、行きたい時に、行きたい所に行くことができる公共交通をしっかりと作っていく必要があります。

◇日時 令和8年3月15日(日) 午前10:00～11:30

◇場所 十王交流センター(多目的ホール)

◇内容 I 公共交通に関するアンケート結果について

説明；十王地区公共交通検討会

II 十王地域の公共交通を考える

説明；十王地区公共交通検討会

III 日立市の公共交通への取り組み

講師；日立市役所 都市政策課

◇対象者 十王地区に居住されている方

◇参加費 無料

◇主催 十王地区コミュニティ推進会環境部

◇申込先 3月1日(日)～10日(火)の間に

十王交流センター ☎39-2411 へ

★資料の準備がございますので、
必ず事前申込みをお願いします。

乗る体験そのものを
楽しむのであれば、「どこでも
ドア」が理想？

問い合わせ先

電話 39-2133

環境部部长 大森哲郎

※アンケートにご回答くださった皆様、ご協力ありがとうございました。

■ 編集後記

新しい年を迎えてからあっという間に1か月が過ぎてしまいました。早いですね。例年にないようなすごく寒い日が続きますが、皆様いかがお過ごしですか？夏は猛暑が続き、冬は極寒の日が続き、異常気象なのでしょうか。先日、テレビで「ナノプラスチック」が人間の脳にまで入り込んでいるとの映像を見てしまいました。人間が発明したものに対して、人間がいじめられてしまうものはたくさんあるように思います。「100年先の人たちが安心して暮らせるように、いま私たちが対策を講じていかなければいけない」と研究者が言っていました。重い言葉を聞きました。(芳賀)